

「スーパーシティ」構想について



平成31年1月11日
内閣府地方創生推進事務局

「スーパーシティ」構想について ①未来像・実装技術

- 世界の動きを踏まえ、10月23日の国家戦略特区諮問会議において、**安倍総理より**、第四次産業革命を体現する世界最先端都市を、先行実施する**「スーパーシティ」構想について、基本的なコンセプトを取りまとめるよう指示**。
- 11月26日には、「「スーパーシティ」構想の実現に向けた**有識者懇談会**」（座長：**竹中平蔵教授**）が**中間とりまとめ**を実施。
- 「スーパーシティ」では、行政手続のワンズオンリー、キャッシュレス、自動走行・自動配送、遠隔医療・介護や遠隔教育などの取組を、**分野横断的なAIやビッグデータの仕組みを活用することによって、都市に実装することを目指す**。

全ての行政手続を、
個人端末で効率的に処理。

エネルギー、上下水、リサイクル
などをコミュニティ内で最適管理。

全てキャッシュレス。
エリア内は現金不要。

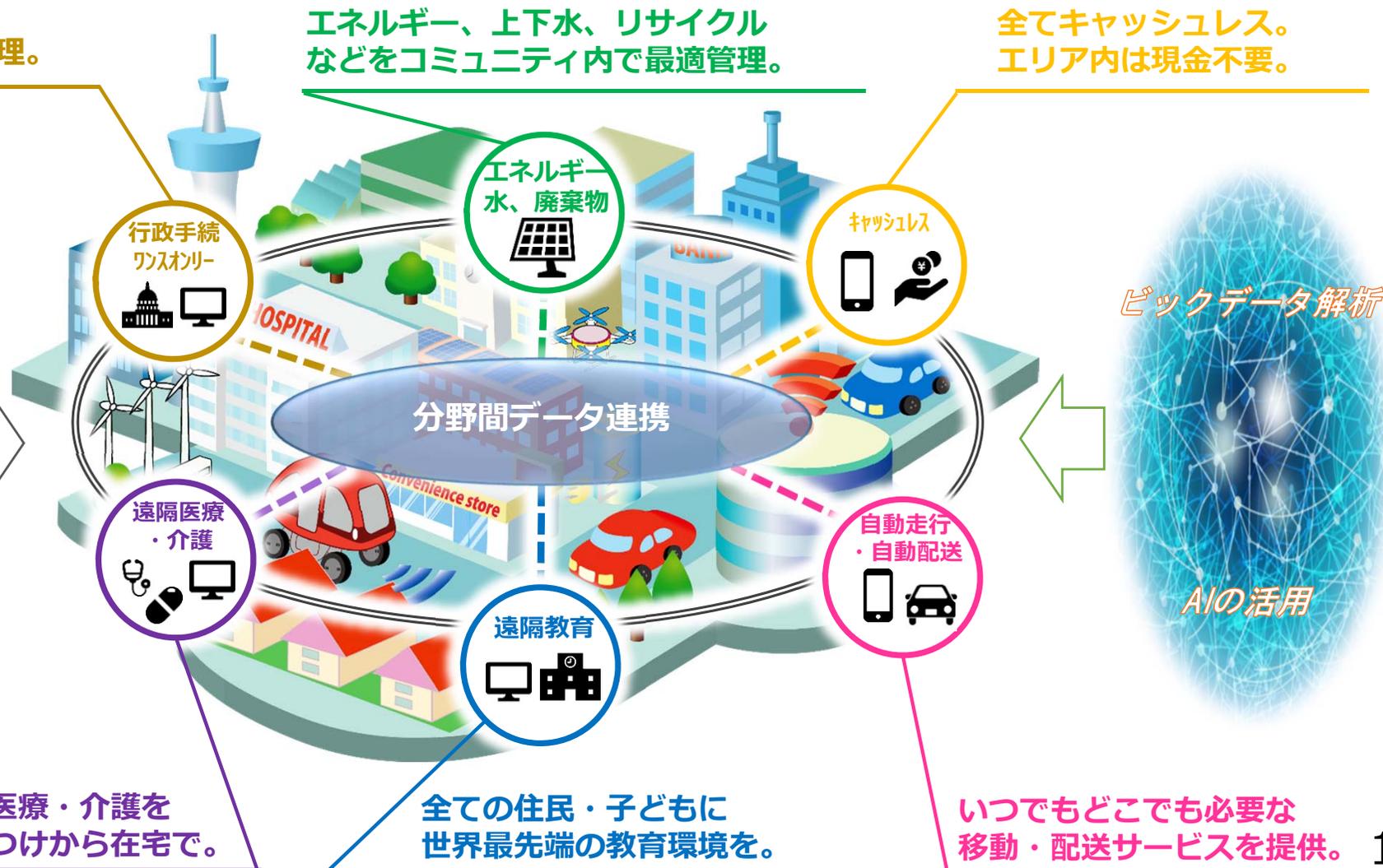


(サーバーのローカライゼーション)

全ての医療・介護を
かかりつけから在宅で。

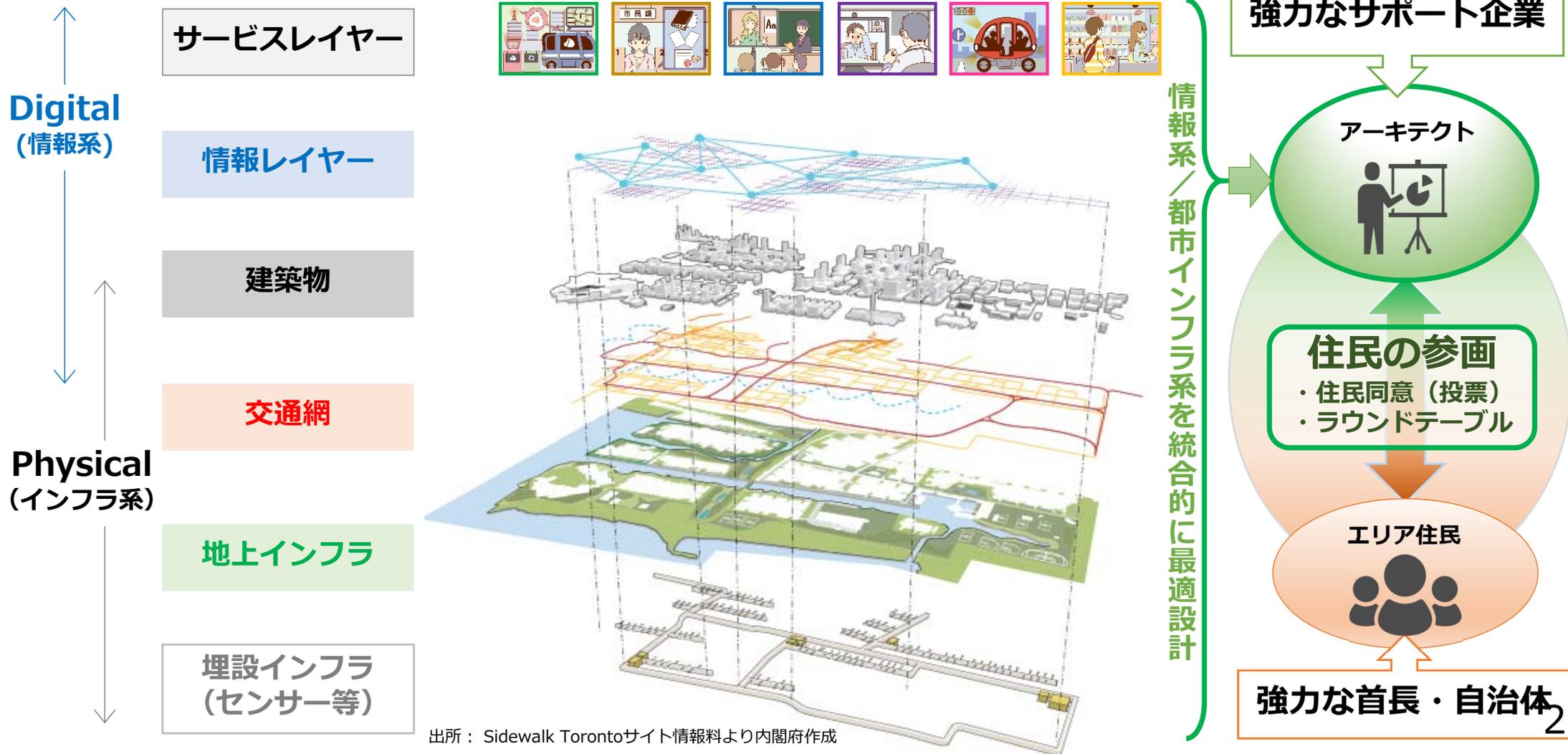
全ての住民・子どもに
世界最先端の教育環境を。

いつでもどこでも必要な
移動・配送サービスを提供。



「スーパーシティ」構想について ②支える仕組み

- 物理的な都市インフラから、サービスを伴う情報インフラまで、統合的かつ最適な形で、都市に実装することが課題。その実現には、強力なサポート企業と、強力な首長・自治体によるサポートを得ること、更には、**住民合意など積極的な住民参画とそれを前提とした極力柔軟なルール作りを認める制度整備が成功の鍵。**
- このため、**実現すべき制度整備の詳細を、極力早期に固めるとともに、Society5.0をはじめとする関係府省の取組と連携しつつ、実装すべきインフラ整備の内容の詳細を固め、**来年夏以降、エリアの選定・公募に向けて動き出す。



「スーパーシティ」構想について (詳細)

「スーパーシティ」構想について

- 世界では、AI及びビッグデータを活用し、**社会の在り方を根本から変える**ような都市設計の動きが急速に進展
- こうした動きを背景に、10月23日の国家戦略特区諮問会議において、安倍総理から、**第四次産業革命を体現する世界最先端都市を先行実施する「スーパーシティ」構想**について基本的なコンセプトを早急にとりまとめるよう指示
- **ゴール逆算型のアプローチ、ビッグデータの分野横断的な活用、スピード感と機動力**といった視点を考慮しつつ、**国家戦略特区制度を活用し、世界最先端の実装ができる場を我が国内に設ける**など、「スーパーシティ」構想を実現

カナダ・トロント市の事例

■ Google系列会社が行政と連携し、ありとあらゆる場所、ヒト・モノの動きをセンサーで把握し、ビッグデータを活用した都市設計が進行中

○モビリティに関する構想

- ・ 信号が絶えず人、自転車、車の動きを追跡



- ・ 公共の自動運転車、用途に応じて変化する道路

○建物・インフラに関する構想

- ・ モジュール化されたパーツを組合せ、車を組立てるように建築



- ・ 共同溝の物流網化や公益サービス用の地下道ネットワーク

中国・杭州市の事例

■ アリババ系列会社が行政と連携し、交通違反や渋滞対策にカメラ映像のAI分析を活用。ベンチャーによる無人コンビニも展開中

○交通違反や渋滞対策にAI分析を活用

- ・ 道路ライブカメラ映像をAIが自動で収集し、異常を認めた場合に警察へ自動通報（多い日で500件）
- ・ 交通状況に応じ信号機の点滅を自動で切り替え、一部地域で自動車走行速度が15%上昇



○無人コンビニの展開

- ・ スマホアプリも必要としない顔認証でのキャッシュレス支払いが可能



国家戦略特区制度を活用しつつ
住民と競争力のある事業者が協力し、
世界最先端の日本型スーパーシティを構想

「スーパーシティ」の実装技術（イメージ）

全ての行政手続を、
個人端末で効率的に処理。

エネルギー、上下水、リサイクル
などをコミュニティ内で最適管理。

全てキャッシュレス。
エリア内は現金不要。



ビッグデータ解析

AIの活用

全ての医療・介護を
かかりつけから在宅で。

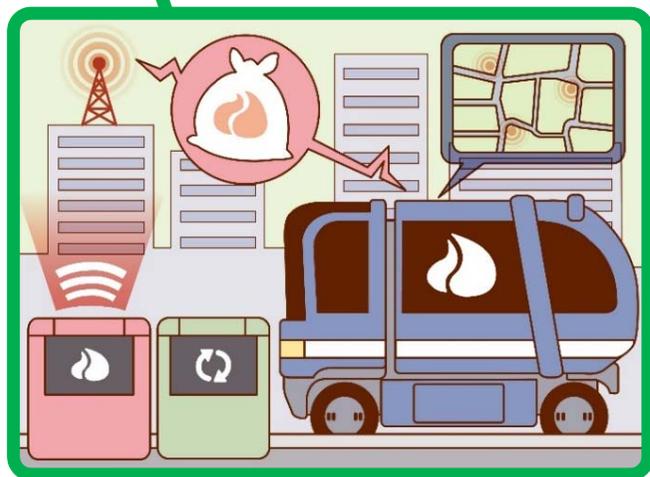
全ての住民・子どもに
世界最先端の教育環境を。

いつでもどこでも必要な
移動・配送サービスを提供。



キャッシュレス

ランチから買い物まで
すべてキャッシュレス。
お得なポイントも
顔認証などで一括処理。
家計簿管理も、楽々。



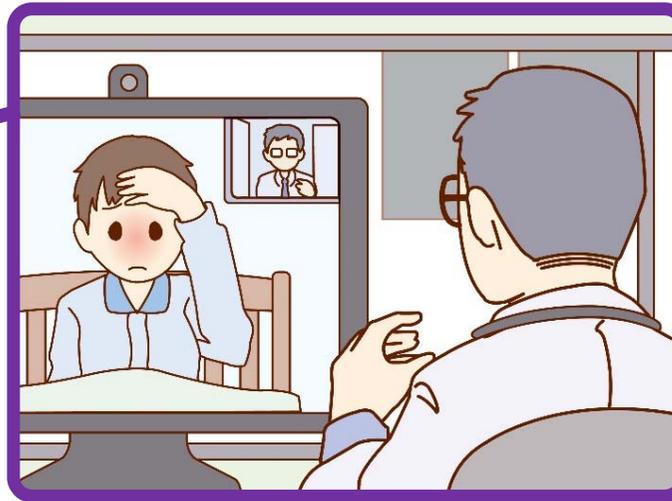
自動走行・自動配送

いつでも、どこでも、
自動走行車両がご案内。
必要な時に必要なものを
即時にお届け。
宅配ボックスはもう不要。

自動ゴミ収集

曜日を問わずゴミ出し。
センサーで満杯を感知し自動収集。

「スーパーシティ」と暮らし ～住宅編



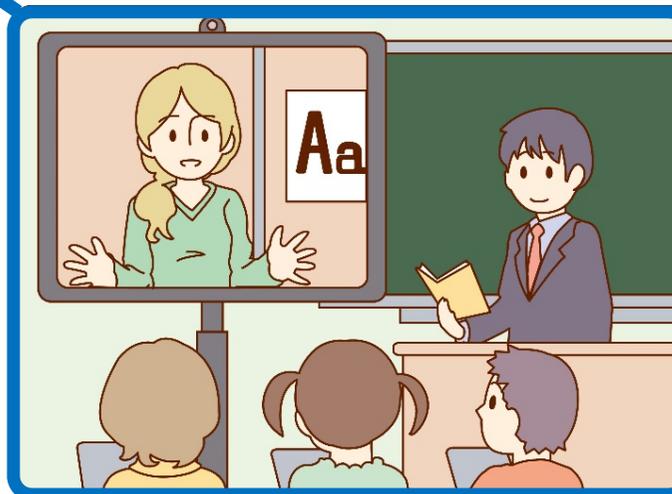
遠隔医療・介護

AIも活用し、
症状の軽いうちから
しっかりケア(「AIホスピタル」)。
夜間の心配な急病も
ネットで簡単に受診。
いつでも見守られ、
安心を提供。



行政手続ワンスオンリー

最初の手続を行えば、
その後の全ての申請・手続は、
個人端末からネットで簡単に処理。



遠隔教育

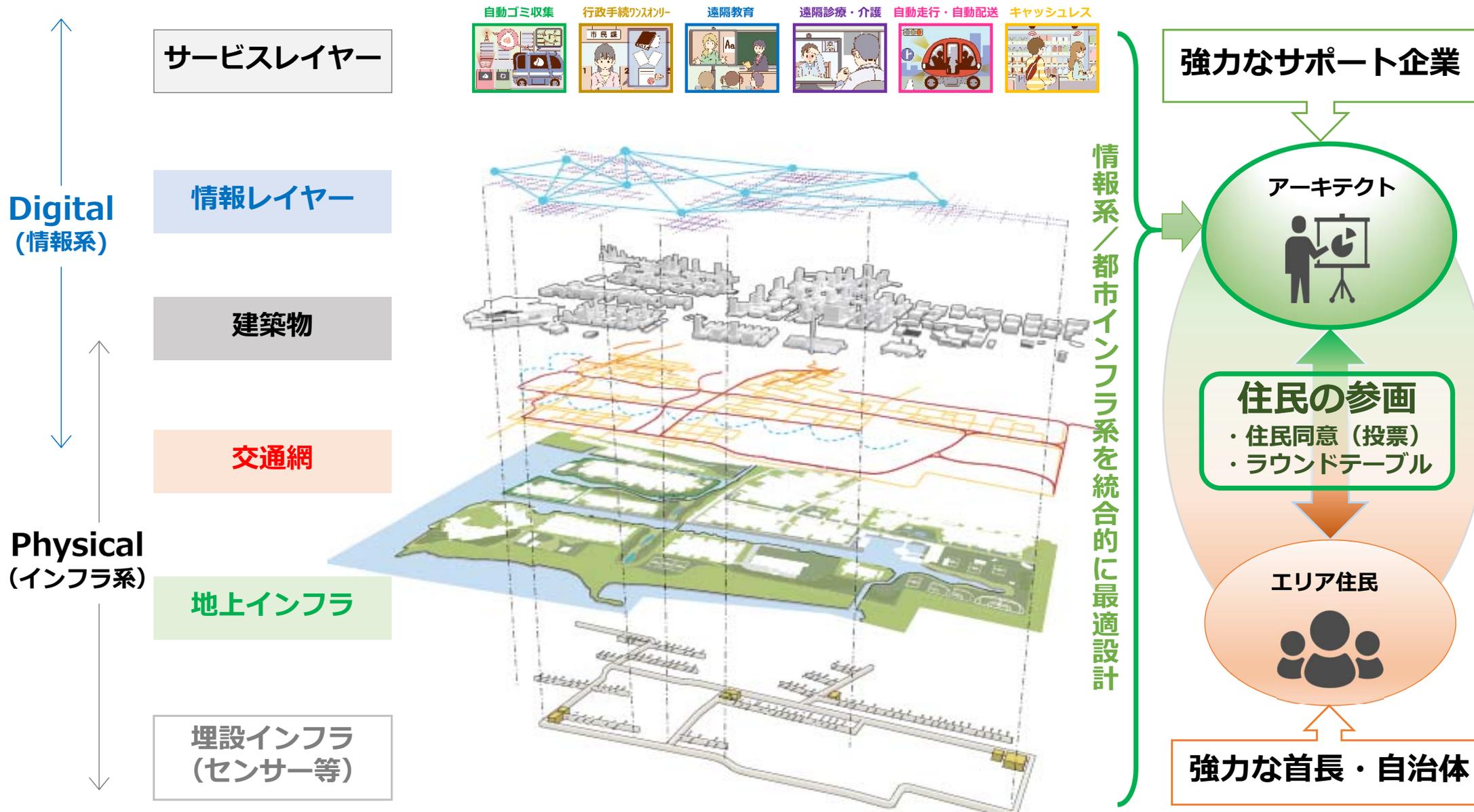
一人ひとりに即したコンテンツを、
子供から大人まで、いつでもどこでも
誰にでも、ネットで必要な時に配信。

もしも不便が
あったら??

いつでも気軽に
市民窓口(仮称)
にご相談。



「スーパーシティ」を支える仕組み（イメージ）



出所：Sidewalk Torontoサイト情報料より内閣府作成